

特別展 Information

「特別展 国宝 聖林寺十一面観音——三輪山信仰のみほとけ」

「聖徳太子1400年 聖徳太子と法隆寺」
「伝教大師一二〇〇年 最澄と天台宗のすべて」
「遠忌記念 特別展」

「親と子のギャラリ— まるごと体験！ 日本の文化リターンズ」……2、3

特別企画 Information

「マレーシア・イスラーム イスラーム王朝とムスリムの世界」
「美術館精選 特別企画」

「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念 特別企画」
「スポーツNIPPON」……4

「特集 那智——出土品にみる霊地の遺宝」

「特集 岐阜県関市・春日神社の能狂言面」……5

総合文化展 Pick Up!

「(本館)東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館」……6、7

「トーハクの調査研究」……7

「本館展示案内(2階)日本美術の流れ、1階:ジャンル別展示」……8、11

「本号のトピック」……11/みどりのライオン(教育普及事業)……12

「日本美術のとりら 本館特別3室 6月22日(火)オープン！」

「トーハクくんなるほートーハク」……13

「イベント&インフォメーション」……14、15

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第765号

2021

6・7・8



裏表紙に
掲載してるほ!

表紙の名品

重要文化財

「准胝観音像」



TNM

特別展

「**国宝 聖林寺十一面観音**」— み わ や ま し ん こ う
三輪山信仰のみほとけ」

本館特別5室 6月22日(火)～9月12日(日)

奈良県北部に位置する美しい円錐形の三輪山。『日本書紀』や『古事記』にも登場し、古来より神が宿る山として信仰を集めてきました。ふもとには、この三輪山を御神体とし、日本最古の神社とされる大神神社があります。境内や周辺に多くの関連神社を擁する大規模な神社で、かつては仏教寺院も営まれました。

しかし明治元年の神仏分離令により、大神神社の境内にあった寺の仏像は外へと移されました。聖林寺の国宝 十一面観音菩薩立像をはじめ、法隆寺、正暦寺など、主に奈良県内の近隣寺院に伝わります。本展ではこれらの仏像や宝物、出土品を通じて、いまなお息づく三輪山信仰の歴史と奥深さを探ります。

(増田政史)



おおくにぬしのおおかみりゆうどう
大国主大神立像

平安時代・12世紀 奈良・大神神社蔵
大神神社の創建に深く関わった、
大国主大神の像です



み わ や ま え ゅ
三輪山絵図

室町時代・16世紀 奈良・大神神社蔵
展示期間：6月22日(火)～8月1日(日)
三輪山や大神神社の景観を描いた図。壮大な境内には
仏教寺院もありました

観覧料：前売日時指定券＝一般1,400円、大学生700円、高校生400円
当日券＝一般1,500円、大学生800円、高校生500円
展覧会公式サイト <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/shorinj2020/>

本展は事前予約制(日時指定券)を導入します。「前売日時指定券」、「当日券」の詳細は今後展覧会公式サイト等でお知らせします。※ご来館時、「当日券」は販売終了している可能性があります。

聖徳太子1400年遠忌記念 特別展

「**聖徳太子と法隆寺**」

平成館特別展示室 7月13日(火)～9月5日(日)

日本に仏教をひろめるとともに、冠位十二階や憲法十七条など、以降の歴史の礎となる事業を推し進めた聖徳太子。今年、法隆寺は聖徳太子の1400年遠忌を迎えました。これを記念した本展は太子にゆかりのある様々な宝物が一堂に集結する法隆寺展です。なかでも中宮寺より特別にお借りする天寿国繡帳は注目の作品。聖徳太子が亡くなった後、太子に会いたいという橘妃の願いによって作られた帷(カーテン)の断片であり、太子が往生したという天寿国の様子が緻密な刺繍によって表されています。また法隆寺金堂に安置される四天王像のうち、堂内北側にあるため普段は拝観の機会がない広目天と多聞天も展示します。動きが少なく静謐な表情が特徴的で、日本最古の四天王像として極めて重要な作品です。

(三田寛之)



てんじゅこくしゅうちよう
●天寿国繡帳

(部分)

飛鳥時代・推古天皇30年(622)頃 奈良・中宮寺蔵
展示期間：7月13日(火)～8月9日(月・休)

断片と化した今日も、飛鳥時代の鮮やかな色彩を伝えて
います

してんのうりゆうどう たもんてん
●四天王立像 多聞天

飛鳥時代・7世紀 奈良・法隆寺蔵
エレガントにたたまれた衣のひだなど、
細部まで美しく表現されています

観覧料：前売日時指定券＝一般2,100円、大学生1,300円、高校生900円
当日券＝一般2,200円、大学生1,400円、高校生1,000円
展覧会公式サイト <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/horyuji2021/>

本展は事前予約制(日時指定券)を導入します。「前売日時指定券」、「当日券」の詳細は今後展覧会公式サイト等でお知らせします。※ご来館時、「当日券」は販売終了している可能性があります。

伝教大師1200年大遠忌記念 特別展 「最澄と天台宗のすべて」

平成館特別展示室 10月12日(火)～11月21日(日)

本展は、今年1200年の大遠忌を迎える伝教大師最澄と、日本の文化に大きな影響を与えた天台宗の歴史をご紹介します特別展です。見どころのひとつは、寺外初公開を含む貴重な秘仏をご覧いただける点です。博物館ニュース3・4・5月号でご紹介した阿弥陀如来立像(京都・眞正極楽寺〔真如堂〕蔵)のほか、最澄自刻の伝承をもつ薬師如来坐像(岐阜・願興寺〔蟹薬師〕蔵)、肖像彫刻として最大級の大きさを誇る慈恵大師坐像(東京・深大寺蔵)などがお出ましになります。ふたつめは、江戸時代の天台宗に焦点を当てます。当館の隣には東の比叡山・寛永寺があります。徳川将軍家の庇護のもと花開いた、江戸時代の天台美術の数々をご覧ください貴重な機会です。(古川攝一)



(部分)



◎薬師如来坐像

平安時代・12世紀 岐阜・願興寺(蟹薬師)蔵
蟹薬師として信仰を集めた秘仏本尊。穏やかな雰囲気
の平安時代の優品です

○慈眼大師縁起絵巻(中巻)

詞書：胤海筆・絵：住吉具慶筆 江戸時代・延宝8年(1680)
東京・寛永寺蔵 中巻展示期間：10月26日(火)～11月7日(日)
寛永寺を創建した大海の生涯を描いた絵巻物。
江戸時代の寛永寺の様子が描かれます

展覧会公式サイト <https://saicho2021-2022.jp/>

親子のギャラリー
たいけん
まるごと体験!
にほんぶんか
日本の文化 リターンズ

本館 特別4室
7月20日(火)
～
9月5日(日)

浮世絵
7月20日(火)～9月5日(日)
重ね摺りのしくみをスタンプで
体験できます

うるし
7月20日(火)～9月5日(日)
タッチ端末でオリジナルの漆の箱を
デザインできます

きもの
7月20日(火)～8月15日(日)
江戸時代のファッショントレンドを
ぬりえて味わえます

よろい
8月17日(火)～9月5日(日)
よろいの制作技術と美しさが
細部までわかります

※画像はすべて、親子のギャラリー「まるごと体験! 日本の文化」(2021年1月19日(火)～2月28日(日))の様子です



こうたいし
皇太子アッバース・ミールザーの肖像
イラン カージャール朝・1818～20年頃
マレーシア・イスラーム美術館蔵
カージャール朝の王室は王族の肖像画
を描かせ、外交上の贈り物としました

マレーシア・イスラーム美術館精選 特別企画

イスラーム王朝と ムスリムの世界

このたびマレーシア・イスラーム美術館の全面協力を得て、同館がこれまでに収蔵してきた作品群による、特定の国家や地域に偏らない、世界規模のイスラーム美術の展示が実現しました。

イスラーム教は、7世紀にアラブ人のムハンマドが預言者として唯一神に対する信仰を説き、創始した宗教です。その後、イスラーム教は西アジアのみならず、ヨーロッパ、北アフリカ、中央アジア、南アジア、東南アジア、そして東アジアへと広がり、キリスト教に次いで世界で2番目に信者の多い宗教にまで発展しました。イスラーム教を受容した世界各地では、多くのイスラーム王朝が交替しましたが、いずれも各地の文化を融合させた独自のイスラーム文化を展開してきました。

この特別企画はこうしたイスラーム文化の多様性を知る手掛かりになるはずです。(勝木言一郎)

東洋館12・13室

7月6日(火)～2022年2月20日(日)



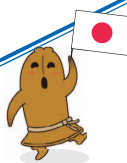
ミフラーブ・パネル

中央アジアまたはイラン ティムール朝・14～15世紀
マレーシア・イスラーム美術館蔵
ターコイズ・ブルーの濃淡で施釉されたタイルで作られています

いろ え き ば たかがりじんぶつもんはち
色絵騎馬鷹狩人物文鉢

イラン 12世紀末～13世紀初
マレーシア・イスラーム美術館蔵

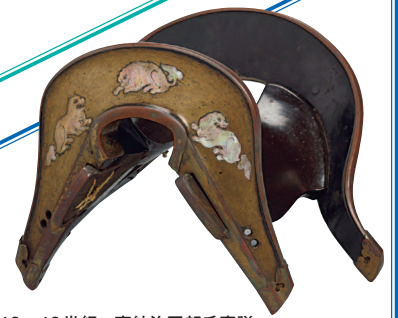
釉薬に合わせ、複数回焼成することで多くの色を表現しています



し し ら でんくら
獅子螺鈿鞍

平安～鎌倉時代・12～13世紀 嘉納治五郎氏寄贈

鎌倉武士が用いた重厚かつ華麗に飾られた鞍です。
「柔道の父」といわれる嘉納治五郎氏が当館に寄贈しました



東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念 特別企画

スポーツ NIPPON

平成館企画展示室 7月13日(火)～9月20日(月・祝)

本展は東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を記念して行うもので、日本におけるスポーツの歴史と文化をご紹介します。当館と秩父宮記念スポーツ博物館が所蔵する美術工芸品や近現代スポーツ資料を通して、江戸時代以前と明治時代以降の日本スポーツの源流と発展をご覧ください。

世界最大規模のスポーツと文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックが東京で開催されるこの機会に、本展が日本スポーツの歩みと魅力を伝え、日本文化の発信とさらなる発展につながる場となれば幸いです。(佐藤寛介)



べら・チャスラフスカ

(旧チェコスロバキア女子体操選手) ユニフォーム

昭和39年(1964) 秩父宮記念スポーツ博物館蔵

アジア初のオリンピック開催となった1964年東京大会の女子体操で、個人総合金メダルを獲得したチャスラフスカ選手のユニフォームです

おふさきぶろう え まき
男衾三郎絵巻

鎌倉時代・13世紀 展示期間：7月13日(火)～8月15日(日)

東国武士が弓馬の鍛錬に励む様子を描いた場面有名な絵巻物です。弓術と馬術は武士の武芸として重視されました

(部分)



特集
那智

— 出土品にみる霊地の遺宝 —

本館14室 6月8日(火)～7月18日(日)

那智と耳にすると、日本三大瀑布で有名な那智の滝を思い浮かべる方もいらっしゃると思います。和歌山県南部、那智を含む紀伊山地は、仏教伝来以降、真言密教や山岳信仰、修験道の霊場として大いに栄えました。また、平安時代以降、末法思想が世の中に広まるにつれ、那智には数多くの経塚が造営されました。

大正7年(1918)に熊野那智大社飛滝(ひりょう/ひろう)権現の参道から偶然発見されたことをきっかけとして、これまでにおびただしい数の仏教関連遺物が出土しています。本特集では、当館所蔵の代表例を中心に、那智の遺宝をご紹介します。作品を通じて当時の人々の願いや思いを感じていただければ幸いです。(井出浩正)

ゆれるたび音を奏でる小さな輪

錫杖頭

奈良時代・8世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
僧侶や修行者が歩く際に鳴らしながら用いる杖の頭の部分です

ポージングの曲線美と
柔らかな表情に注目

菩薩半跏像

飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
片脚を組んだ膝の上に右肘を置き、ほおづえをついた柔らかな姿が特徴です



密教の儀式で使われる仏具

金剛愛菩薩三昧耶形

平安時代・12世紀 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
仏の印相や持物によって、仏を象徴的に表現しています

特集
岐阜県関市・

春日神社の能狂言面

本館14室 7月20日(火)～9月26日(日)

岐阜県関市の春日神社は、大和(奈良)から移り住んだ刀鍛冶の氏神として創建、信仰されてきました。室町時代15世紀前半に刀鍛冶の移住が増え、再興された春日神社では毎年1月28日に、刀鍛冶らによって能が奉納されました。境内には今も能舞台があり、能装束のほか、能面48面、狂言面5面、行道面・追儺面等8面の合計61面が伝来しています。能狂言面は室町時代の作を多く含む点が貴重で、平成22年(2010)、重要文化財に指定されました。今回は3期に分けて全61面を展示します。名品揃いですが、もっとも注目すべきは「トウ作」と銘のある能面笑尉です。そのいきいきとした表情は、近世以降の定型化した能面とは一線を画するものです。童顔に微笑みをたたえた乙は刀鍛冶の娘をモデルにしたのででしょうか。きつと人気を集めたことでしょう。(浅見龍介)

優しく微笑む
可愛らしい面

◎狂言面 乙

室町時代・15～16世紀
岐阜・春日神社蔵

全国に数多ある乙の中でも屈指の名品。狂言では醜女の役に使われますが、これは可愛らしい面です

大きな鼻と
しかめた眉が
迫力満点

◎能面 悪尉

室町時代・15～16世紀
岐阜・春日神社蔵

展示期間:7月20日(火)～8月15日(日)
面裏に「兼房」と墨書があります。関の刀鍛冶の惣領を代々務めた兼房家に聞わると考えられます

今にも
笑い出しそうな
リアルな表情

◎能面 笑尉

「トウ作」陰刻
室町時代・15世紀
岐阜・春日神社蔵

1本ずつ刻んだ歯とやわらかな唇の表現など舞楽面に近く、能面の源流を示すものです





Pick up!

本館

白黒の対比と 大胆な構図の魅力

玄圃瑤華

7月13日(火)～8月22日(日)

8室 書画の展開—安土桃山～江戸



玄圃瑤華のうち水葵・糸瓜
伊藤若冲自画自刻
江戸時代・明和5年(1768)

※右記の期間は全48図のうち16図を展示

「玄圃瑤華」は全48図、種々の草花と蔬菜、昆虫などを組み合わせ、若冲53歳のときの作品です。正面彫りした版木の上に濡らした紙を貼り、表から墨を塗ると凹部が白く残る「拓版画」と呼ばれる特殊な技法で制作されているのが特徴です。漆黒の背景にモチーフが白く浮かび上がる劇的なコントラストにより、若冲特有の大胆な構図がより際立ち、植物や虫の特徴を的確に捉えた生き生きとした画面に仕上がっています。「玄圃」は仙人の居どころ、「瑤華」は玉のように美しい花の意ですが、本作品はまさに、その美しさをそなえています。

(大橋美織)

本館

「松永コレクション」、 美濃の名品

黒織部沓形茶碗

銘 鶴太郎

8月15日(日)

13室 陶磁



黒織部沓形茶碗 銘 鶴太郎
美濃 江戸時代・17世紀
松永安左工門氏寄贈

戦前戦後の日本の電力界を牽引した実業家で、茶人でもあった松永安左エ門(耳庵)は、昭和22年(1947)、当館へ茶の湯道具を中心とする多数の美術工芸品を寄贈しました。本年6月16日は、耳庵没後50年にあたります。

歪んだ形が特徴的なこの黒織部茶碗(美濃焼)は、全体に黒釉がかかり、一部残った白地に鉄絵具で文様が描かれています。当館に寄贈された「松永コレクション」のやきものには、松永氏の好みを反映した美濃の名品がいくつ含まれます。織部らしい豪放さにあふれる本作品も特にお気に入りの一碗であったようで、しばしば茶会に用いていたことが茶会記に記されています。

(横山梓)

東洋館

縄状の持ち手や文様帯に注目

夔鳳文卣

6月29日(火)～11月7日(日)

5室 中国の青銅器



夔鳳文卣
中国 西周時代・前11～前10世紀



連珠文帯部分の
獸面と夔鳳

卣は提梁(持ち手)とかぶせ蓋が特徴の容器です。銘文等から、卣は酒の香り付けのための煮汁や酒そのものをいれる容器とされていますが、この密閉性を考慮した形状からもそのような用途であったと推定できます。本作品は、頸部の上下に連珠文帯をめぐらせ、その合間に獸面と夔鳳とよぶ大鳥を配しています。出土事例をみると、卣は尊とよばれる酒をいれる容器とセットで用いられることが多かったようです。卣の蓋をあけて、煮汁や酒を尊に注ぐとき、あたりは芳醇な香りに包まれたことでしょう。

(市元星)

東洋館

金と等価ともいわれた印材

獅子鈕田黄石印材

7月18日(日)

8室 中国文人の書斎



獅子鈕田黄石
印材
中国 明時代・
14～17世紀
青山杉雨旧蔵
青山慶示氏寄贈

これは田黄石とよばれる石を加工した印材で、上部には獅子形の鈕を彫り出しています。中国の福建省にある寿山村で採取される寿山石は、その硬度が彫刻するのに適していることから、文人が用いる印章の石材として好まれました。その寿山石のなかでも、田地で採取される黄味のある石を田黄石といい、「石のなかの王」といって特に貴ばれました。その石質はきめ細かく、色調は温かく潤いがあり、明時代以降に印材として盛んに用いられました。田黄石は極めて得難いため、非常に高価であり、同じ重量の金と等価ともいわれました。

(猪熊兼樹)

平成館

仏教の影響を感じさせる
デザイン

陶棺

6月8日(火) ~

考古展示室

陶棺

古墳(飛鳥)時代・7世紀
岡山県美作市平福出土



陶棺は6〜7世紀を中心に普及した焼き物の棺で、とりわけ岡山県域でよくつくられました。窯という狭い場所で作成するため、棺は全部で4つに分割しています。棺蓋は切妻型の屋根であり、棺身を24本の円柱状の脚で支えています。

本作品は、小口面にレリーフをもつのが特徴です。中心にいる仏のような人物が手綱をもち、左右の馬を従えているかのような構図です。人物や動物の上には山並みが、下にあるのは蓮の蕾でしょうか。陶棺の制作は仏教が伝来し普及した時期とも重なりますので、このレリーフには仏教の影響を垣間見ることができそうです。

(河野正訓)

法隆寺宝物館

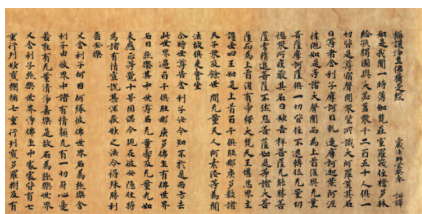
奈良時代の堂々たる書風

称讃浄土仏撰受経

7月18日(日)

第6室 書跡・染織

『称讃浄土仏撰受経』(唐・玄奘訳)は『称讃浄土経』とも呼ばれ、極楽浄土と阿彌陀仏、菩薩衆をたたえ、諸仏をほめたたえることを説いています。鳩摩羅什訳の『阿彌陀経』の異訳本です。奈良時代に『称讃浄土仏撰受経』は、中将姫(藤原豊成の娘)が出家前に千巻書写したと伝わり、天平宝字4年(760)の光明皇后の七七忌(四十九日)に1800巻書写した記録があり、盛んに書写されました。



称讃浄土仏撰受経

奈良時代・8世紀

(部分)り、盛んに書写されました。本書もそうした中のひとつと考えられ、奈良朝写経の代表作である「大聖武」(賢愚経断簡)の特徴を受け継いだ肉厚で雄渾な書風で書写されています。

(恵美千鶴子)

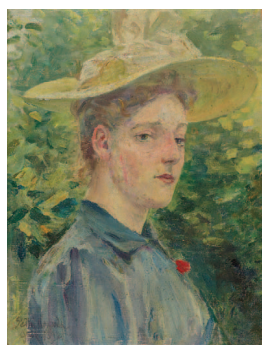
黒田記念館

黒田清輝の
フランス留学中の習作

西洋婦人像

8月15日(日)

黒田記念室



西洋婦人像

黒田清輝筆 明治25年(1892)

令和元年度に新たに収蔵品となった1点。小品ながら、緑につつまれた女性の面差しを生き活きと描き出しています。画面左下のサインから、明治25年(1892)に、フランス留学中の黒田が好んで滞在した小さな村グレー・シュル・ロワンで制作したことがわかります。この頃、黒田はサロン(展覧会)出品に向けて、夏の野辺に女性たちが憩う「夏図」の制作に取り組んでいましたが完成には至りませんでした。残された画稿との類似から、本作品もその構想段階で描かれたものと考えられています。

(東京文化財研究所・塩谷純)

ト・ハクの調査研究 ⑫

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

地道な調査が

作品輸送の未来をかける!?

「輸送中の振動を受けて文化財はどのように揺れてしまうのか?」輸送の安全性を高めるために、文化財の振動応答特性を研究しています。振動を受けた文化財には疲労が蓄積し、やがて損傷となって現れます。大きく振動させない事が輸送における損傷予防の基本と考えています。そのためにまずはどのような振動でどの部分がどれだけ揺れるのかを調べます。すると、大きく揺らしてしまう振動成分を除去するために適した梱包資材を提案できます。梱包設計の基本理論は明快ですが、非常に複雑な物理現象を説明する必要があります。現在、は、屏風の精巧なレブリカを使って、加振試験を繰り返すという地道な調査を進めているところです。



5分おきに場所をかえて振動の数値を測っています

(和田浩)

4

茶の美術

-7/18⑩

祥瑞捻文瓢形
徳利中国・景德鎮窯
明時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

7/20⑩-10/3⑩

彫三島茶碗 銘 木村

朝鮮 朝鮮時代・16~17世紀
広田松繁氏寄贈茶碗の内外に施された白土象嵌の
花文が見どころです

3-3

禅と水墨画
鎌倉〜室町

-7/4⑩

山水図 祥啓筆 室町時代・15世紀

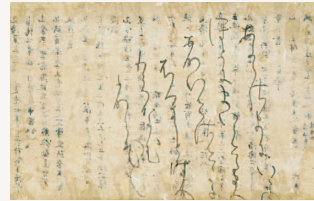


(右隻)

7/6⑩-8/15⑩

四季山水図屏風 伝周文筆 室町時代・15世紀
枯淡な味わいの山水図。幻の大画家・周文の筆
と伝えられます

3-2

宮廷の美術
平安〜室町

-7/4⑩

仮名消息 (延喜式紙背)

平安時代・11世紀

7/6⑩-8/15⑩

◎日月山水図屏風

室町時代・16世紀
金属板の太陽と月が印象的
な、四季の景物を描いたや
まと絵屏風です (左隻)

3-1

仏教の美術
平安〜室町

6/22⑩-7/4⑩

真如法親王像

鎌倉時代・14世紀
岡崎正也氏寄贈
インドへ旅の途中、
虎の害に遭って亡
くなったという伝え
を絵画化した珍し
い作品です

7/6⑩-8/15⑩

◎准胝観音像
平安時代・12世紀 田中親美氏寄贈
(→裏表紙)

1-1

日本美術のあけぼの
縄文・弥生・古墳

7/6⑩-12/25⑩

深鉢形土器

縄文時代(中期)・
前3000~前2000年
山梨県韮崎市
穂坂町出土
三枝善衛氏寄贈

心葉形杏葉

古墳時代・6世紀
静岡県島田市
御小屋原古墳出土
馬の尻を飾った金
具で、乗り手の威信
を高めるのに役立
ちました

1-2

仏教の興隆
飛鳥・奈良

-9/26⑩

瑞花猿猴方鏡

奈良時代・8世紀 京都市西京区山田桜谷町出土
荒木音次郎氏寄贈猿猴(さんげい・
獅子の別名)が
雲間を駆け回る文
様は、当時好ま
れました◎興福寺鎮壇具
花枝双蝶八花鏡奈良時代・8世紀
奈良市興福寺中金堂
須弥壇下出土

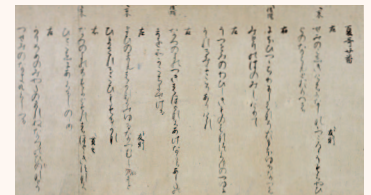
2

国宝室

6/15⑩-7/11⑩

◎寛平御時后宮歌合

伝宗尊親王筆 平安時代・11世紀



(部分)

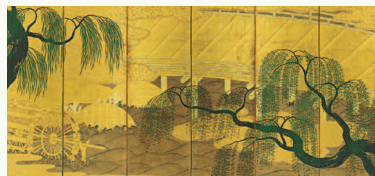
7/13⑩-8/1⑩

◎平治物語絵巻 六波羅行幸巻

鎌倉時代・13世紀 松平直亮氏寄贈

平氏全盛の契
機となった平
治の乱を描い
た合戦絵巻。
群像描写が見
事です

(部分)



(左隻)



(右隻)

6/1(火)-7/11(日)

○柳橋水車図屏風

筆者不詳 安土桃山〜江戸時代・16〜17世紀
古来、景勝の地として知られる京都の宇治橋を装飾的に描いた屏風です

7/13(火)-8/22(日)

○厳島遊楽図屏風

筆者不詳 江戸時代・17世紀

7

屏風と襖絵

― 安土桃山・江戸

7/6(火)-9/26(日)

○紺系威南蛮胴具足

安土桃山時代・16世紀
徳川四天王の榊原康政の甲冑と伝わり、異国風のデザインが目を引きます



7/13(火)-10/3(日)

青漆銀流水文半太刀大小

安土桃山〜江戸時代・16〜17世紀



5・6

武士の装い

― 平安〜江戸

-7/18(日)

石曳時絵并当箱

江戸時代・17世紀

いきいきとした人物描写は、巨石を運ぶ「石曳」の活気を伝えます



すいせんしつぼううきかくし 水仙七宝釘隠

江戸時代・17〜18世紀



8-1

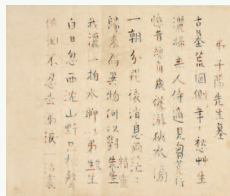
暮らしの調度

― 安土桃山・江戸

6/1(火)-7/11(日)

書巻 良寛筆

江戸時代・19世紀 竹内静子氏寄贈
自詠の漢詩と仮名消息からなる一巻です。良寛の庇護者の家に伝わった、良寛自筆の作品です



(部分)

7/13(火)-8/22(日)

那智滝図

池大雅筆 江戸時代・18世紀
淡彩とやわらかな墨のグラデーションが美しい、大雅40代後半の作品です



8-2

書画の展開

― 安土桃山・江戸

6・7・8月

本館展示
日本美術の

-6/27(日)

長絹 茶地藤蝶模様

奈良・金春家伝来 江戸時代・18世紀



6/29(火)-8/22(日)

唐織 紅白段稲妻

桐菊桜樹模様

奈良・金春家伝来 安土桃山時代・16世紀
秀吉の時代の唐織は、江戸時代以降のものと異なり、金糸を用いず、みやびな出で立ちです



9

能と歌舞伎

6/8(火)-7/4(日)

木曾海道六拾九次之内・洗馬

歌川広重筆 江戸時代・19世紀

木曾街道31番目の宿場である洗馬。月明りに照らされた情感豊かな世界が広がります



8/3(火)-8/29(日)

○娘日時計・午ノ刻

喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀

「午ノ刻」は正午頃。手拭いを手にし、糠袋(ぬかぶくろ)をくわえた湯上り姿の2人の娘を描いています



浮世絵

衣装

10

浮世絵と衣装

― 江戸

-6/27(日)

小袖 白綸子地桐樹模様

江戸時代・17〜18世紀
太い幹が堂々と立ち上がる立木模様には、生命力への畏敬の念が感じられます



6/29(火)-8/22(日)

帷子 黒紅麻地扇面

雪輪手宮秋草模様

江戸時代・17世紀

蒸し暑い日本の夏。涼をとるために秋や冬の模様が取り入れられました

9

15

歴史の記録

6/8(火)-8/1(日)

はくふつかんぎょ ぶ
博物館魚譜 第4帖
博物局編、栗本丹洲他筆
江戸～明治時代・19世紀



8/3(火)-10/3(日)

おうしゅうどうちゅうふんげんのべえ ず
◎奥州道中分間延絵図
道中奉行所編 浅草文庫旧蔵
江戸時代・文化3年(1806)
奥州街道の途中、白坂や関山を経て終
点の白川宿までの道中を描いたものです



(白川宿部分)

14

特集

6/8(火)-7/18(日)

「那智一出土品にみる
霊地の遺宝」

じゅういちめんかんのん ぼ さつりゅうぞう
十一面観音菩薩立像
飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡
那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
飛鳥時代後期の作
とされる、最も古
い十一面観音の遺
例のひとつです
(→5ページ)



7/20(火)-9/26(日)

「岐阜県関市・
春日神社の能狂言面」

のうめん ばらいじょう
◎能面 笑尉

「一トウ作」陰刻
室町時代・15世紀
岐阜・春日神社蔵
近世の形式化した能面とは異なる
いきいきとした表情が魅力です
(→5ページ)



15

14

13-3

13-2

13-1

11

12

案内 1階 展示

13-3

陶磁

-8/15(日)

ねずみ の せきいもんはち
◎鼠志野鶴文鉢

美濃
安土桃山～江戸時代・
16～17世紀



そめつけりゅうとうもんきげじょう
◎染付龍瀧文提重

青木木米作 江戸時代・19世紀
笠置達氏寄贈
手提げの重箱に中国明代の万暦青
花に倣った表現を取り入れています



13-2

刀剣

-8/15(日)

たんとう あわた ぐちよしなつ めいぶつ かつしろう しろう
◎短刀 粟田口吉光 (名物 厚藤四郎)

粟田口吉光作 鎌倉時代・13世紀
京都の名工吉光の代表作。極端に厚みのある刀身が名前の由来です



6/1(火)-8/22(日)

う かもう こ ず つば
◎雨下猛虎図鐙

奈良利寿作 江戸時代・18世紀



11

彫刻

-8/29(日)

きちしょうてんりゅうぞう
吉祥天立像

京都府亀岡市・
大宮神社伝来
平安時代・10世紀



び しゃもんてんりゅうぞう
毘沙門天立像

平安時代・12世紀 片岡家寄贈
仏教世界を守護する毘沙門天
は、福德をもたらす神でもあります

12

漆工

6/1(火)-8/29(日)

おうぎからしまき え て ば こ
◎扇散蒔絵手箱

室町時代・15世紀



おうむ まき え すりばこ
鸛鵲蒔絵硯箱

伝小川破笠作
江戸時代・18世紀

ぎょろりと目をむく鸛鵲。
陶片(とうへん)に堆朱
(ついしゆ)、多彩な素材
の調理法が見どころです

13-1

金工

6/22(火)-9/12(日)

じ ざいりゅうおきもの
自在龍置物

里見重義作 明治時代・20世紀



じ ざいりゅうおきもの
自在蟬置物

高瀬好山作
大正～昭和時代・20世紀
森山寿氏寄贈

高瀬好山は自在置物の作者、
また制作プロデューサーとして
活躍しました



本号のトピック

本館2階

本館1室の年表がリニューアルしました

本館では、国宝・重要文化財を含む縄文時代から明治・大正時代の日本の美術作品が所蔵品を中心にご覧いただくことができます。

2階の1室入口付近にある日本美術年表がリニューアルされているのをご存知でしょうか。

これまでの年表はリスト形式で貼りだしていましたが、新たな年表では各時代を代表する作品を年代順に配置して、日本美術史全体を見渡せるデザインに大きくリニューアルしました。年表で気になる作品や時代を見つけたら、展示室を探索してみましょう！ 展示中の作品をより深く知ることができるかもしれません。

※年表に示した作品は各時代をよく表しているもので、実際に展示していないものもあります。 (平常展調整室)



東洋館

博物館でアジアの旅「空想動物園」

開催期間：9月14日(火)～10月17日(日)

毎年恒例の「博物館でアジアの旅」。今年は「空想動物園」がテーマです。中国の龍や鳳凰、インド神話から仏教やヒンドウ教に取り入れられたナーガやガルダ、そしてシルクロードを通して伝わった、鳥の翼や虫の翅をつけた人物あるいは人面をもった鳥など、不思議な空想動物たちが東洋館にはたくさんいます。

これらの空想動物は絵や置物になっているばかりでなく、器の表面や取っ手など、ちょっとしたところにも潜んでいます。

「空想動物園」に見立てた東洋館で、こうしたアジア各地の空想動物たちを探しながら、空想動物がいったいどうしてこのような形をしているのか、どのような世界に棲み、そして何をしているのかなど、想像をいろいろ巡らせてみませんか。 (勝木言一郎)



東洋館3室 舍利容器 (部分)

中国・伝スバシ 大谷探検隊将来自品 6～7世紀
展示期間：9月14日(火)～10月31日(日)
背中に虫の翅をつけた人物はきわめて珍しいです

東洋館5室 三彩鎮墓獸

中国 唐時代・7～8世紀 横河民輔氏寄贈
鹿の角をもった獣面、蹄のある前脚、そして翼をつけています

-6/20日

しきもの
敷物

樺太アイヌ 19世紀
ウィーン万国博覧会事務局引継



8/3日-9/12日

ぶどうり す らでんふく
葡萄栗鼠螺鈿箱

沖縄本島
第二尚氏時代・
19世紀

夜光貝の螺鈿で
文様をあしらった、矢を入れて
背負う武具です



16

アイヌと琉球



18

近代の美術



-10/31日

ろうまん
◎老猿

高村光雲作 明治26年(1893)
シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局寄贈

8/3日-9/20日・祝

ちょうゆう
聴幽

大智勝観筆 大正3年(1914)
点描で彩られた木々の間を流れる、
幽(かす)かな風の音が聴こえます



※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく変更・中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。また、動画配信については、公開済、公開予定のコンテンツを掲載しています。



お知らせ

ご自宅等でお楽しみいただけるよう
YouTube による動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

オンライン

月例講演会

「中国古代の封泥 ハンコ行政のはじまり」

講師：谷豊信(元特任研究員)

封泥とは、印章(ハンコ)を押した泥の塊です。ハンコ行政廃止が議論されている今、古代中国の役所では、紙が普及する以前は、なんと泥(粘土)にハンコを押していたというお話をします。



「おじさん『むかしの話』をする一私とトーハクの25年」

講師：田沢裕賀(特任研究員)

東京国立博物館に勤めて25年9ヶ月が経ちました。この間に何をやってきたのかを振り返り、ひとりの研究員が博物館で何をしてきたのかお話しします。



オンライン

ギャラリートーク

「日本文人画の世界」

講師：大橋美織(絵画・彫刻室研究員)、
植松瑞希(出版企画室研究員)

江戸時代、文人の生き方に憧れ、中国絵画を懸命に学び、そこに自らの感性と想像力を加えて作品を生み出した、日本文人画の豊穡な世界をご紹介します。



「X線CT装置の文化財保存への活用」

講師：宮田将寛(調査分析室専門職)

当館のX線CT装置の活用事例をご紹介します。目視では確認することのできない文化財の内部を調査し構造や損傷の状態を把握することで、保存・修理に貢献しています。



東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念 特別企画「スポーツNIPPON」(→4ページ)のギャラリートーク動画を会期中に配信予定です。詳細は決まり次第ウェブサイトでお知らせします。

みどりのライオン



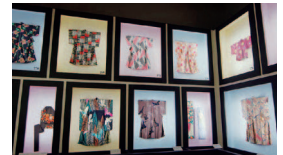
ほかにあります!

充実の動画ラインナップ!

特別展「きもの KIMONO」記録映像

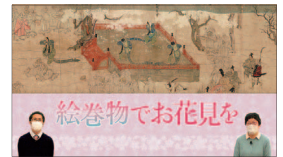
2020年6月30日(火)～8月23日(日)まで開催した特別展「きもの KIMONO」は、1973年に開催した特別展「日本の染織」以来、当館では47年ぶりとなる大規模な染織の展覧会でした。この動画では、本展の会場内の様子をご紹介します。会期中、会場に来られなかった方や、もう一度鑑賞したいという方にも楽しんでいただける内容です。

※公開期限：2023年3月31日まで(予定)



「絵巻物でお花見を」

2021年3月16日(火)～4月11日(日)まで開催した「博物館でお花見を」では桜をモチーフにした作品を展示していました。その中から本館3室で展示した、重要文化財「天狗草紙(東寺・醍醐寺巻)」と「雀の発心」の魅力を土屋貴裕(絵画・彫刻室長)が前・後編にわたりご紹介しています。



「トーハク庭園探訪」

4月1日(木)より本館北側の庭園が全面リニューアルオープンしました。新しく道を舗装し以前より歩きやすくなり、より散策が楽しめるようになりました。また、ゆったり景色を楽しむことができる腰掛石も設置しました。新しくなった庭園の見どころを白澤利紀(環境整備課室長)がご案内します。



YouTube 登録者数
10,000人超え
たんたほ!

さまざまなジャンルの
動画を公開しているので
見てくださいね!



日本美術のとびら

The Door to Japanese Art

本館特別3室

6月22日(火) オープン！

本館特別3室に体験型展示スペース「日本美術のとびら」がオープンします。「とびら」のむこうに広がる展示室で、もっと文化財に親しんでいただけるよう、3つのコーナーが登場します。

1

みる

〈日本文化紹介映像〉



日本美術紹介映像
「A GLIDE ON THE GREAT WAVE」
約8分間の上映です。入ってすぐのモニターで上映します

2

たのしむ

〈日本美術のデジタル年表〉



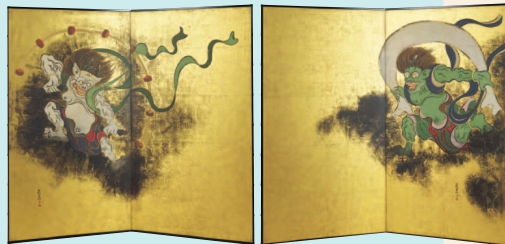
日本美術のデジタル年表（イメージ）
横幅14メートルの大画面にあらわれるトーハクの文化財を手で動かしながら、日本美術の流れを体験できます
コンテンツ制作：凸版印刷株式会社

3

かんじる

〈高精細複製品〉

※季節に合わせて展示替えを行います

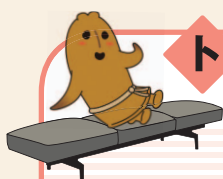


高精細複製品

第1弾は風神雷神図・夏秋草図屏風を展示します
(6月22日(火)～8月29日(日)まで)

原本は作品保存のため、表と裏を別々にしていますが、高精細複製品はもともとこの姿のように表と裏を合わせて仕立てています

★どのコーナーでも、見て、体験することで、今日に受け継がれてきた文化財のすばらしさを体感できます。ご来館の際は、「日本美術のとびら」にぜひお立ち寄りください。(小島有紀子)



トーハクくんの
なるとハク

新しくなった

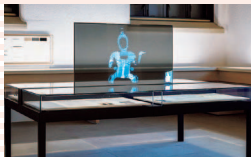
本館17室

に興味津々だほ！

今日も館内を満喫しているトーハクくん。最近のお気に入りスポットは、2021年2月に生まれ変わった本館17室です。「保存と修理」がテーマのこの展示室では、当館が行っている文化財保存の取り組みを紹介しています。さて、どんなところが新しくなったのでしょうか？



ユリノキちゃん！このかっこいい映像をもう見たほ？ほとけさまの断面が写ってるんだほ！



これは如意輪観音菩薩坐像のCT断面画像で、今回のリニューアルで新しくできた「調査診断」に関する展示エリアなのよ。



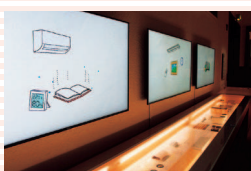
ちょうさしんだんって何だほ？



文化財を守るためには、状態を詳しく調べて、必要な処置を判断することが大切よ。X線CT撮影も、その取り組みのひとつなの。見た目ではわからない内側のつくりや材質、損傷の有無まで確認して、保存や修理の方針を考えるのに役立てるのよ。人が受けるCT検査とも似ているわね。だから、調査診断はよく健康診断にも例えられるそうよ。



ぼくも健康診断受けてみたいほ。あっ、こっちのアニメーションも前はなかったほ！



そうなの！このエリアではトーハクにおける「予防保存」の活動を紹介しているのよ。



よぼうほぞん？……また難しい言葉が出てきたほ……。



文化財が損傷すると修理をしなければ状態は回復しないわね。でも修理は文化財にとって負担になるから、少しでも損傷を予防するには文化財の周りの環境を安全に整える必要があるのよ。このアニメーションでは光や湿気、虫、振動などが作品に与える影響や、損傷を防ぐ方法をイメージしていただけるのよ。



さすがユリノキちゃん。文化財を傷めないことが大事だほ！



そのとおりね。それでも長い時間を経て傷んでしまった文化財は、こちらの「修理保存」をテーマにしたエリアで展示している道具や材料を使って直していくのよ。



ゆ、ユリノキちゃん！このケース、中に大きいお豆腐があるほ……！



トーハクくん、これは刀剣のお手入れに使う砥石よ。何種類もの砥石で磨くことで、刃文などが引き立つの。



これが砥石ほー。展示室に食べ物があるなんて、おかしいと思ったほ。



リニューアルをして道具がより見やすくなり、解説文は英語、中国語、韓国語でも楽しんでもいただけるようになったのよ。



ふむふむ！広報大使のぼくも安心だほー。ホッとしたりお腹が空いてきたほ。



もう、17室がパワーアップしても、トーハクくんは相変わらずね。

「冬木小袖」修理プロジェクト 中間報告

尾形光琳が模様を描いたきもの重要文化財「小袖 白綾地秋草模様（通称「冬木小袖」）」の本格修理が始まりました。2022年末までの約2年間で解体や表地の補修、裏地の新調などが行われる予定です。本プロジェクトへのご寄附は、12,692,430円（2021年3月末時点）となりました。目標金額は15,000,000円です。皆さまのさらなるご支援をお待ちしています。



「冬木小袖」修理プロジェクト

※「冬木小袖」モチーフの返礼品の例。（くい呑み、ピンブローチ、袱紗）
※数に限りがございます。予めご了承ください。

手ぬぐいをプレゼント

大好評の伊藤若冲自画自刻「玄圃瑤華」を使用したポスターデザインの手ぬぐいを10名様にプレゼントします。締切は2021年9月10日（金）必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※手ぬぐいは1種類のみです。販売はしていません。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース6・7・8月号」プレゼント係



本館北側庭園のリニューアルポイント紹介！

大規模工事が完了し、年間を通して全面開放を行っている本館北側の庭園リニューアルのポイントを庭園マップとあわせてご紹介します。

ポイント①

全体的に園路を更新。以前よりも歩きやすく、また散策が楽しめるような庭園に生まれ変わりました。

ポイント②

以前よりあった外周の園路に加え、その内側に新たな園路を設置。春草廬や転合庵など茶室にも周遊しやすくなりました。

ポイント③

春草廬や本館テラス側に石の腰掛を設置。散策時の休憩場所が増えました。

ポイント④

石燈籠付近などの樹木を整え、以前よりも明るい庭園になりました。



2021年度版 庭園マップ 館内配布および当館ウェブサイトにてダウンロードできます

休館・閉室情報

展示室の一部を以下の通り閉室します。

東洋館地下1階11・12・13室：5月10日（月）～7月5日（月）

※上記期間中、東洋館地下1階TNM & TOPPAN ミュージアムシアターは開場します。

「トーハクくん」、「ユリノキちゃん」のLINEスタンプに登場！

東京国立博物館の公式キャラクター「トーハクくん」、「ユリノキちゃん」のLINEスタンプの販売を開始しました。

全40種類のスタンプをまとめて120円でお求めいただけます。ぜひご利用ください。



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『鳥獣戯画 超入門！』 2021年7月11日（日）まで見たことあるけど、もっと知りたい！ 鳥獣戯画ワールドに超入門！

今からおおよそ800年前に描かれた国宝「鳥獣戯画」。本VR作品では、甲・乙・丙・丁の4巻からなるこの国宝のうち、主に甲巻にスポットを当て、絵巻をクルクルと繰り広げるように流れに沿って、動物たちが生き生きと遊ぶミラクルワールドを詳しく、やさしく解説します。

料金：一般・大学生・高校生600円、小学生・中学生300円、未就学児・障がい者とその介護者各1名は無料（1作品／1回あたり）、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください（当日券のみ）。

〔予告〕VR作品『法隆寺 国宝 金堂一聖徳太子のころ』
7月14日（水）～10月10日（日）（予定）

※演目・スケジュール・定員は、変更もしくは休演となる場合がございます。
※詳細はウェブサイト（<https://www.toppa-vr.jp/mt/>）をご覧ください。



	6月	7月	8月
休館日	7日、14日、21日、28日	5日、12日、19日、26日	2日、16日、23日、30日

※8月10日(火)は臨時開館しますが、聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」は休館します。

※開館時間、休館日等の最新情報は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

- 入館は事前予約制(日時指定券)となります。
[入館可能時間] 9:30～12:30、12:30～16:30、
16:30～20:30(夜間開館実施日のみ)
※滞在時間の制約はありません。

- 障がい者とその介護者1名は無料。
満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 国際博物館の日(5月18日<火>)、敬老の日(9月20日<月・祝>)、
文化の日(11月3日<水・祝>)は、総合文化展のみ観覧無料

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで！

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



【ご注意】 2021年4月1日(木)より、賛助会員制度及び会員制度を以下のように改定し、賛助会は名称及び特典、会員制度は年会費及び特典が変更となっております。詳細は当館ウェブサイトやチラシをご確認ください。なお、2021年3月31日(水)までに発行された会員証の特典は、有効期限内に限りご利用いただけます。

◆東京国立博物館賛助会員(寄附会員制度)募集のご案内

東京国立博物館の運営の趣旨にご賛同いただける団体・個人向けの寄附会員制度です。寄附金控除の対象になります。

【主な特典】 特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】 <団体> プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)、維持会員 20万円
<個人> プラチナ会員 100万円以上、ゴールド会員 20万円、シルバー会員 5万円

【申込方法】 会員受付窓口、ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込
詳細は担当までお問合せください。

◆東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、1年間のうち何度でもご来館いただける会員制度をご用意しております。

友の会

発行から1年間有効 年会費:7,000円

- 【特典】** 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を3枚と、ミュージアムシアター観覧券1枚、ショップ・レストラン割引などさまざまな特典があります。
※2021年4月以降にお申込みの方で、本誌の郵送をご希望される場合は、別途「東京国立博物館ニュース」の定期購読をお申込みください。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,500円、学生1,200円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能

東京国立博物館ニュース、定期購読

年会費:1,000円(1年分)

【特典】 東京国立博物館ニュースを年4回、1年分ご指定の場所に送付いたします。*次号(9-11月号)より送付をご希望の場合、締切は2021年8月10日(火)です。

○申込方法

1. 会員受付窓口

当館正門前の会員受付窓口で即日発行し、当日からご使用いただけます。(現金またはクレジットカード、電子マネー)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生(4館共通のみ))、③メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名(ふりがな)、⑦電話番号を通信欄・ご依頼人欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 友の会または国立博物館メンバーズパス(4館共通)にお申込みの方で、「東京国立博物館ニュース」の送付をご希望の方は、振替用紙に『東京国立博物館ニュース定期購読希望』とご記入のうえ、各会費に追加料金として1,000円を加えた金額をお振替ください。

- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

- 振替手数料はお客様負担となります。

- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

※2021年4月25日(日)からの臨時休館に伴い、友の会、メンバーズプレミアムパス、国立博物館メンバーズパスについては、有効期限を延長します。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

○お問合せ

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680

総務課渉外開発担当

*月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

表紙の名品

2021年6月・7月・8月号

重要文化財 准胝観音像

7月6日(火)～8月15日(日)

本館3室

柔らかな彩色と金銀の截金、美意識の極致



◎准胝観音像

平安時代・12世紀 田中親美氏寄贈

4層の豪華な台座の上に仏が静かに座っています。腕の数はなんと8本。左手には人々を救い上げる縄が見られますし、右手には救いを邪魔するものを撃退する三叉戟(さんさげき)を持っています。腕の数が多いのは、それだけ多くの人々を救うためでしょう。頭上には蓮華(れんげ)唐草(からくさ)の文様が施された美しい天蓋(てんがい)があり、仏の姿を清らかに飾ります。

極楽往生したいという貴族たちの願いから、平安時代中頃の盛んになりました。本作品の表現を見ると、平安時代末期の貴族たちの高い美意識をうかがうことができます。例えば観音をきらびやかに飾る截金(きりかね)文様。左肩から右脇にかけて覆う条帛(じょうはく)には細い金箔を網目に装飾し、腰から下を覆う裳(も)には、四菱型の文様を囲む七宝つなぎ文が施されます(拡大図)。光背(こうはい)にも趣向が凝らされ、特に頭光(ずこう)は、区画毎に文様帯を分けています。一番外側には銀の截金が見られます。このほか、台座

部分には暖色系の柔らかな彩色が施され、大ぶりの文様とともに、平安時代の仏画の特色をうかがうことができます。准胝観音の周りには、四天王が描かれます。一定の太さの朱線で丁寧な輪郭を描き出す観音の姿とは対照的に、四天王は筆勢を生かした伸びやかな墨線で描かれ、動きを感じさせます。こうした描写から、鎌倉時代の仏画に見られる要素も感じさせます。

准胝観音は人々を災いから守ったり、長寿や安産といった願いを受け止めてくれる仏です。仏教を守る四天王が描かれることで、この絵を見た人は准胝観音の救いの力をより大きく、頼もしく感じたことでしょう。本作品は、貴族たちの祈りと美意識が反映された、貴重な作例です。

(古川 攝二)



三角形や菱形に切られた金箔を組み合わせて精緻な文様が施されます

(部分)